

みなもの歴史散歩

No.7

龍ヶ谷城〜要塞堅固な中世の山城〜



社会教育担当 馬場

龍ヶ谷城の歴史

龍ヶ谷城は、小田原北条氏（後北条氏）の拠点である鉢形城（寄居町）の支城として築城されました。築城主は、鉢形城主・北条氏邦の家臣である用土新左衛門と伝えられています。現在、山頂には用土新左衛門を祀るとされる石宮があります。龍ヶ谷城は、甲斐武田氏の侵入に備え、また鉢形城の背後の固めとして機能し、秩父地方を支配しようとしていた北条氏にとって重要な拠点のひとつでした。

龍ヶ谷城の構造

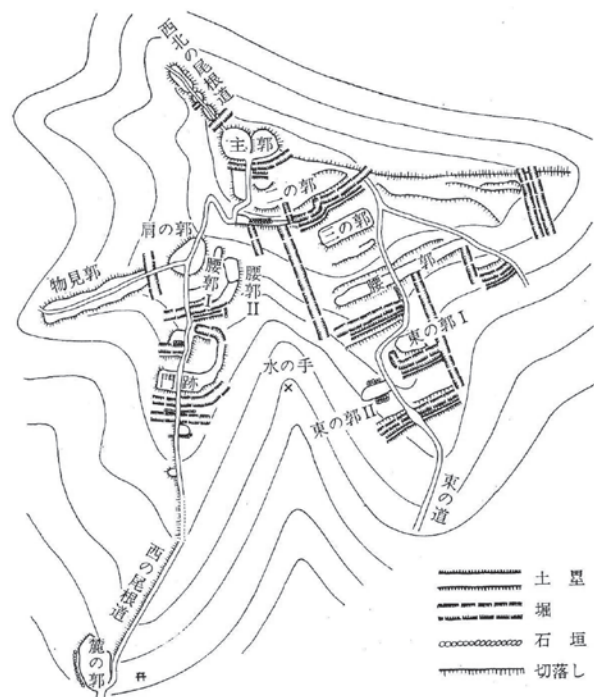
龍ヶ谷城は標高約三三〇の山塊に設けられた城で、山頂からは、秩父郡北部を一望できます。

山頂には、二つの円形の郭（堀や切落しで区画した城内の区域）があり、主郭（城の中心となる郭）と考えられます。尾根道には、尾根づたいに攻めてくる敵を防ぐために堀切（尾根を断ち切る堀）が何カ所もあります。また、堀切の一部は掘り残して土橋としています。他にも、龍ヶ谷城では堀や切落し（斜面を削って作った人工的な崖）、土塁などがみられます。

武田氏の戦い

秩父地方を掌握していた北条氏と甲信地域を本拠地とする武田氏はしばしば争いを繰り広げていました。永禄十二年（一五六九年）には、龍ヶ谷城付近でも武田氏との戦いが起こりました。付近の地名が「戦場」というのは、その

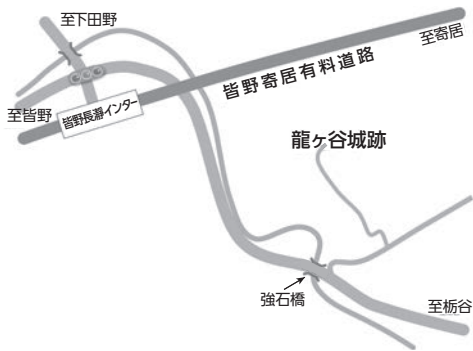
名残と言われています。また、毎年三月に下田野地区で開催される「下田野あんどんまつり」は、この戦いの際に討ち死にした武士や農民の霊を慰めるために始まったとされています。



龍ヶ谷城全体図



空堀



龍ヶ谷城は、秩父地域を代表する山城であり、保存状態が良好であることから県選定重要遺跡に指定されています。山頂まで登ることができ、ぜひ訪れてください。

※訂正
十一月号に掲載した「みなもの歴史散歩No.6」国神大イチョウの記事に誤りがありました。
指定年 昭和十五年→大正十五年

わがまち消防団

皆野町消防団出初式

期日 1月7日(日)
時間 午後1時30分
場所 町民運動公園

出初式では放水演習などが行われます。日ごろの訓練の成果、団員の勇姿を、ぜひご覧ください。

女性消防団員募集中

現在、2名の女性消防団員が活躍しています。さらなる団員の充実強化をめざし町では、女性消防団員を募集しています。

町の消防・防災に活躍してみませんか？

活動内容

- ・火災予防の広報活動
- ・防火訓練の指導
- ・防火指導

興味のあるかた、入団の希望については左記までご連絡ください。

問合せ 総務課 企画政策防災担当

☎ 62・1231

埼玉県の最低賃金は
871円です!

県内すべての労働者とその使用者に適用されます。

問合せ 埼玉労働局賃金室
048-600-6205